

日野 皓正 Quintet

80th Birth Celebration

with スペシャルゲスト ジュディ・オング

80歳を迎えた世界的ジャズ・トランペッター日野皓正
歌手ジュディ・オングをゲストに迎えた、
日野皓正クインテットによる豪華なステージ！



※病氣療養のため、本公演への出演を取り止めと
なった八代亜紀氏に変わり、スペシャルゲストとして
ジュディ・オング氏をお迎えすることとなりました。



加藤 一平 (gt)



高橋 佑成 (pf)



Marty Holoubek (b)



石若 駿 (ds)

Terumasa Hino

2023 **11.11** **土** 16:00開演
(15:30開場)
久喜総合文化会館 大ホール

チケット料金 [全席指定・税込]
※未就学児入場不可

一般	フレンズ会員	障がい者割引
6,000円	5,500円	5,500円

フレンズ会員先行発売日 8/5(土) 9:00～ 各館窓口・会館オンライン

一般発売日 8/12(土) 9:00～ 各館窓口・会館オンライン

電話予約 8/14(月) 9:00～ 一般・フレンズ会員とも

主催：久喜総合文化会館 後援：NACK5

プレイガイド

・久喜総合文化会館 0480-21-1799

オンラインチケットサービス

・久喜市菖蒲文化会館アミーゴ 0480-87-1377

・久喜市栗橋文化会館イリス 0480-52-3221

・チケットぴあ (Pコード 244-646) <https://t.pia.jp>

お問合せ

久喜総合文化会館 TEL.0480-21-1799

開館時間／9:00～21:30 〒346-0022 埼玉県久喜市下早見140番地
休館日／毎月第4火曜日(祝日の場合は、その翌日)

企画制作：トップシーン



profile

ジャズ・トランペッター 日野 皓正



1942年、10月25日東京生まれ。タップダンサー兼トランペッターであった父親より、4歳からタップダンス、9歳からトランペットを学び始め、13歳の頃には米軍キャンプのダンスバンドで活動始める。

1964年、白木秀雄クインテットに参加、翌年のベルリン ジャズ フェスティバルに出演し喝采を浴びる。

1967年、初リーダーアルバム『アローン・アローン・アンド・アローン』をリリース。

1968年、伝説のグループ、菊地雅章との双頭ユニット日野=菊地クインテットを結成、録音。

1969年、『ハイノロジー』をリリース後、マスコミに“ヒノテル・ブーム”と騒がれるほどの絶大な注目を集める。

1972年、ニューポートジャズ フェスティバル出演。

1975年、N.Y.に渡り居を構え、ジャッキー・マクリーン、ギル・エバンス、ホレス・シルバー、ラリー・コリエルなどと活動を重ねる。

1979年、『シティー・コネクション』、1981年『ダブル・レインボー』とたて続けに大ヒットアルバムをリリース。

1982年、『ピラミッド』をリリースし、武道館を含む全国ツアーを行う。

1984年、ロサンゼルス オリンピックアートフェスティバルに出演。

1989年、ジャズの名門レーベル“ブルーノート”と日本人初の契約アーティストとなり、第1弾アルバム『ブルーストラック』は、日本はもとより、アメリカでも大好評を博す。

1990年以降、自身の夢である「アジアを1つに」という願いを込め、アジア各国を渡り歩き、探し集めたミュージシャンと結成した《日野皓正&ASIAN JAZZ ALLSTARS》で、1995~96年に北米-アジアツアーを行う。

1995年、日野=菊地クインテットによる『アコースティック・ブギ』《日本ジャズディスク大賞 金賞受賞》をリリースし、マウント フジジャズ フェスティバルの出演他、ブルーノート・ツアーを行う。

1997年、台湾での「第16回国際芸術祭」、シドニーでの「日豪友好100周年記念コンサート」に出演。

2000年、大阪音楽大学短期大学部客員教授就任。

2001年、インド、パキスタンにて公演の他、西インド地震災害チャリティコンサート、そしてカンボジアでは子供たちのためのチャリティコンサートを行う。アルバムは『D・N・A』をリリースし、全国ツアーを行う。この「D・N・A」プロジェクトは芸術選奨文部科学大臣賞(大衆芸能部門)受賞。

2004年、紫綬褒章受章。また約20年ぶりに映画音楽を手掛け、サウンドトラックは文化庁芸術祭レコード部門 優秀賞、毎日映画コンクール 音楽賞受賞。《映画:透光の樹》

2007年、盟友 菊地雅章(pf)との、日野=菊地クインテット『カウンターカレント』、デュオ・アルバム『エッジス』を発売。《エッジスは日本ジャズディスク大賞 銀賞受賞作品》

2010年、尚美学園大学客員教授就任。

2013年、dj honda、次男 日野JINO賢二を迎えたユニット「日野皓正 h factor」にてライブを行う他、同ユニットにてアルバム『Unity - h factor -』を発売。

2019年、春の叙勲 旭日小綬章受章。12月ニューアルバム『ビヨンド・ザ・ミラージュ』を発売。

また近年はチャリティー活動や後進の指導にも情熱を注ぎ、個展や画集の出版など絵画の分野でも活躍が著しい。唯一無二のオリジナリティと芸術性の高さを誇る日本を代表する国際的アーティストである。

GUEST 歌手・女優・木版画家 ジュディ・オング



台湾生まれ。3歳で来日し、女優として11歳の時、日米合作映画「大津波」でデビュー。歌手デビューは16歳、数々のヒットを飛ばし、1979年には「魅せられて」が200万枚の大ヒット、日本レコード大賞他を多数受賞。90年代よりアジアの子供たちの為の「北京平和音楽祭」を初め、チャリティイベント「台湾大地震ハート・エイド」「ハートエイド四川」をプロデュース。

其の後台湾・香港にてチャリティイベントを企画、両国との架け橋として活動を続けている。

25歳で始めた木版画はプロフェッショナルとなり、日展会友、白日会正会員。

2005年「紅樓依緑」が日展特選を受賞。これまでに14回の日展入選を果たし国内外で個展を開催中。また近年、本格的に国内外でのドラマに完全復帰。2018年シングルCD「ほほえみをありがとう」(日本コロムビア)に続き、12月には念願のジャズ・アルバム「Always」がリリース、続いて台湾とシンガポールでもリリースされた。

2022年「外務大臣表彰」・「文化庁長官表彰」のダブル受賞の栄誉を賜る。現在、開発途上国の子供たちを支援するワールドビジョン・ジャパンの親善大使の他、ボリオ撲滅大使、日本介助犬協会介助犬サポート大使を務めている。

ジュディ・オングホームページ <http://www.judyongg.com/>

加藤 一平(gt)



1982年東京都出身。20歳の時にギターを独学をはじめ、都内各所のセッションで腕を磨く。23歳の時、NYへ。ジャムセッション、ライブで腕を磨く。帰国後、鈴木勲OMA SOUND、日野皓正クインテット、渋谷知らず、Fuwa Works (from 渋谷知らず)、など、多数のグループのサポートメンバーとしてライブやレコーディングで活躍をしている。また自身のバンド「鳴らした場合」での活動でも注目を浴びている。



高橋 佑成(pf)

1994年東京生まれ。明治学院大学文学部芸術学科卒業。13歳の頃から独学でジャズを始める。その後中学生対象の世田谷ドリームジャズバンドに加入。日野皓正氏を始めとしたジャズミュージシャンに触れ音楽を学ぶ。現在は世田谷トリオ、m'fe、日野皓正クインテット、自身が主宰する音楽ユニット“秘密基地”、STUTSや七尾旅人、Mirage Collectiveなどのバンドに参加し、ジャズに限らず多岐に渡って活動している。

Marty Holoubek (b)



オーストラリア出身。アデレード大学音楽科、モナシュ大学大学院音楽研究科を卒業。在学中より数多くの素晴らしい音楽家と活動を共にする。2015年に初来日。2018年から拠点を東京に移し、2019年-2020年のムジカ・ピッコリーノ、崎山蒼志、ROTH BART BARONのベースプレーヤーとして活躍。現在もAnswer to Rememberをはじめとする人気グループにて活躍する他、日本とオーストラリアの国際交流にも力を注いでいる。



石若 駿(ds)

1992年北海道生まれ。幼少からクラシックに親しみ、その後、札幌ジュニアジャズスクールに在籍。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校打楽器専攻を経て、同大学卒業。近年は、くるり、millennium paradeをはじめ多方面でサポートメンバーとして活躍する他、自身のプロジェクト、Answer to Remember、SMTKなどでの活動も注目を集めている。また、自身のソロパフォーマンスが、多方面のPV等に起用される他、山口県情報芸術センター[YCAM]にてパフォーマンス作品を発表するなど、幅広い活躍をみせている。